



発行 大阪倉庫協会  
大阪 市 中央区 今 橋  
2丁目3番21号(今橋藤浪ビル)  
編集 発行人 高橋茂文  
<https://www.soukoweb.jp/>

## 大倉協第七十五回通常総会

六月一日 於 大阪倶楽部

会 長 福西 康人 氏

副会長 黒木 郁雄 氏

同 岩本 保治 氏

同 山中 恵司 氏

大阪倉庫協会は去る六月一日(月)、第七十五回通常総会を大阪倶楽部で開催した。

当日は、来賓として近畿運輸局より小澤局長、交通政策部 平山部長、同部 環境・物流課 山田課長、内藤主査のご臨席を賜り、舩谷名誉理事をお迎えし、会員出席者百十五名が参加して行われた。

午後四時、筑紫常務理事から会員の総数百九十五社、本日の出席会員八十一社、委任状百五社を以って総会是有効に成立する旨の報告を行い、小野会長の開会挨拶、永年会員表彰に続き議事に入った。

### 第一号議案

令和七年度事業報告承認の件

### 第二号議案

令和七年度収支決算並びに剰余金処分案承認の件

### 第三号議案

令和八年度事業計画案承認の件

### 第四号議案

令和八年度会費要領案承認の件

### 第五号議案

令和八年度収支予算案承認の件

### 第六号議案

委員会の組織改編案の件

### 第七号議案

役員任期満了につき改選の件

◆ ◆ ◆  
以上すべての議案は、いずれも原案通り承認された。

◆ ◆ ◆  
そのあと新役員による理事会が開催され、会長、副会長の互選が行われた結果、別掲の方々が各々選出された。引き続き議事を再開し、理事会の結果報告を以って予定の議案すべての審議を終了し、福西新会長の挨拶、黒木副会長の新任の挨拶があり、小澤会長の祝辞を賜って、第七十五回通常総会は滞りなく終了した。

引き続き懇親会に移り、大阪倉庫協会 黒木副会長の乾杯ご発声により宴が催され、盛況の内に午後六時二十分に散会した。

### ご挨拶



大阪倉庫協会会長

福西 康人



只今ご紹介いただきました杉村倉庫の福西でございます。

このたび皆様方のご推挙によりまして、大阪倉庫協会会長を務めさせて頂くこととなりました。当協会を取り巻く厳しい環境に思いをいたしますと、責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、協会の発展のため尽力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。また、本日、業務ご多端の折、ご来臨賜りました国土交通省近畿運輸局の小沢局長様をはじめ近畿運輸局ご当局的皆様におかれましてはよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

本日、会長をご退任されました小

野前会長には二年間のご在任中、高いご見識と指導力により当協会発展のためご尽力いただきました。ここに改めて敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

黒木様や岩本様、山中様には、格別のご支援を賜りたくどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年四月から改正物効法に基づいて特定事業者制度が開始されました。特定事業者に指定された倉庫事業者、荷主、トラック運送事



渡月橋(京都)

業者は、物流効率化に関する中長期計画の作成、定期報告等が義務付けられることになりました。また、取引先の荷主が特定事業者となる可能性は高く、特定倉庫事業者の指定を受けない事業者であっても、荷主のパートナーとして積極的に改善提案を行うなど、物流効率化への取り組みを一層強化していくことが求められております。

また、標準倉庫寄託約款の改正が四月より施行されました。この改正では、附帯業務等の規定、賠償額の上限設定、在庫証明書の新設等、多岐にわたっており、寄託者との利害に大きく関わる重要な項目も含まれております。当協会としましては、国土交通省や日倉協と連携し、必要な支援を行って参ります。

また、人材の育成、物流DX・AI、情報セキュリティ対策、防災、環境対応といった従来からの取り組みの一層の推進に向けて、教育研修を充実させて参りたい、と存じます。

以上の主な取組みを通じて、会員事業者の皆様、協会の発展の糧となるべく尽力して参りますので、近畿運輸局ご当局並びに会員事業者の皆様におかれましては、今後とも引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びとなりますが、ご出席の皆様の方々のご繁栄とご発展を祈念申し上げます。簡単ではございますが会長就任のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

## 祝 辞



国土交通省  
近畿運輸局 次長

小澤 康彦



ただいま、ご紹介いただきました国土交通省近畿運輸局次長の小澤でございます。

大阪倉庫協会通常総会が開催され、先程、全ての議事が滞りなく終了されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

小野前会長におかれましては精力的に諸課題に取り組まれ、業界の発展にご尽力なさいましたこと、心より敬意を表します。

また、皆様方におかれましては、平素より国土交通行政、とりわけ倉庫行政の推進にあたりまして、格別のご理解・ご高配を賜っておりますこと、高いところから誠に恐縮ですが、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、足元の情勢に目を向けますと、中東情勢の緊迫化により、エネルギー不安や国内外経済の不透明さが増しています。燃料価格高騰や

為替の影響により、資材価格高騰やシンナーなどの石油製品入手困難による設備老朽化対策への影響が懸念されるところです。

また、従前からの課題として、慢性的な人手不足対策、南海トラフ巨大地震やスーパー台風のほか、地球温暖化に伴う風水害の激甚化への備え、さらには賃上げや物価上昇に伴う人件費の増加など、倉庫業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあると認識しております。

こうした中、昨年度に取りまとめられました「今後の物流拠点のあり方検討会」を踏まえ、改正物流効率化法が先月に成立、公布されました。改正法では、貨物自動車中継輸送実施計画認定制度を新たに創設し、倉庫業者を含む複数の事業者が連携して整備する公共性の高い物流拠点について、従来の倉庫税制を引き継ぐ形で固定資産税等の特例措置を講じることとなっております。

ドライバー不足が深刻化する中、ドライバーの負担軽減を図りつつ持続可能な物流を維持するため、中継輸送を推進・拡大していくことが急務となっております。その中であって、近畿圏は地理的優位性を有しており、非常に大きなポテンシャルがあるものと認識しております。

また、この他にも、物流分野におけるDX促進や非常用電源設備の導入支援など様々な支援をご用意しております。

是非、こうした各種支援制度を積極的にご活用いただけますと幸いです。

です。

さて、皆様には釈迦に説法ですが、物流は、国民生活や経済活動、地域活性化などを支える重要な社会インフラであり、我が国の社会経済活動のために不可欠な公共性の極めて高いサービスであります。

そのため、物流を単なるコストとしてではなく、新たな価値を創造するサービスとして捉え直し、より上質で魅力ある産業へと転換させることを目的に、本年三月に総合物流施策大綱が閣議決定されました。

新たな大綱では、今後取り組むべき施策を、サービスの供給制約に対応するための徹底的な物流効率化や物流に携わる多様な関係者の連携・協力による物流標準化と物流DX・GXの推進など、五つの柱に整理されております。

近畿運輸局といたしましても、本大綱を受け、皆様と連携しながら、関係施策の着実な実施に取り組んで参りたいと思っております。引き続き、ご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

結びに、福西新会長の体制のもと、御協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



## 近畿倉庫協会連合会 第五十五回通常総会



去る六月二日(火)、近畿倉庫協会連合会第五十五回通常総会が、午後四時からホテルグランヴィア大阪において開催された。

当日は、来賓として近畿運輸局より平山交通政策部長、山田同部環境・物流課長のご臨席を賜わり、日倉協から陣上常務理事をお迎えした。小野会長から開会の挨拶の後、議事に入った。

### 第一号議案

令和七年度事業報告承認の件

### 第二号議案

令和七年度決算並びに剰余金処分(案)承認の件

### 第三号議案

令和八年度事業計画(案)承認の件

### 第四号議案

令和八年度会費要領(案)承認の件

### 第五号議案

令和八年度収支予算(案)承認の件

### 第六号議案

役員任期満了につき改選の件

議案はいずれも原案通り承認され、役員改選では新理事による会長、副会長審議の結果、会長には大阪倉庫協会長の福西康人氏、副会長には京都倉庫協会長の木村正和氏が選任された。審議終了後、平山近畿運輸局交通政策部長、陣上日倉協常務理事の祝辞を賜り総会は滞りなく終了した。

引き続き懇親会に移り、日倉協の陣上常務理事に乾杯のご発声进行き、盛会の内に午後六時散会した。

令和八年度大阪倉庫協会役員  
(令和八年七月十五日現在)

|      |                   |             |       |
|------|-------------------|-------------|-------|
| 会長   | (株)杉村倉庫           | 取締役会長       | 福西 康人 |
| 副会長  | (株)住友倉庫           | 取締役常務執行役員   | 黒木 郁雄 |
| 〃    | エスケーロジ(株)         | 代表取締役社長     | 岩本 保治 |
| 〃    | ダイシン物流(株)         | 代表取締役       | 山中 恵司 |
| 常務理事 |                   |             | 高橋 茂文 |
| 理事   | (株)インターロジサービス     | 代表取締役社長     | 松尾 智仁 |
| 〃    | NX・NPロジスティクス(株)   | 代表取締役副社長    | 金田 吉生 |
| 〃    | 大阪港埠頭ターミナル(株)     | 代表取締役社長     | 石津 賢治 |
| 〃    | 大阪倉庫(株)           | 代表取締役社長     | 近藤 正昭 |
| 〃    | カネミ倉庫(株)          | 代表取締役副社長    | 加藤 又輝 |
| 〃    | 川西倉庫(株)           | 執行役員大阪支店長   | 中村 浩幸 |
| 〃    | ケイヒン(株)           | 関西営業部長      | 平川 卓  |
| 〃    | 鴻池運輸(株)           | 代表取締役会長     | 鴻池 忠彦 |
| 〃    | 櫻島埠頭(株)           | 代表取締役役員     | 谷本 祐介 |
| 〃    | JR貨物ロジソリューションズ(株) | 関西支店長       | 奥本 元  |
| 〃    | 澁澤倉庫(株)           | 上級執行役員      | 平川 仁司 |
| 〃    | センコー(株)           | 代表取締役社長     | 大越 昇  |
| 〃    | 大日本倉庫(株)          | 代表取締役会長     | 高井 榮彌 |
| 〃    | (株)辰巳商會           | 代表取締役社長     | 西 茂樹  |
| 〃    | 谷川運輸倉庫(株)         | 代表取締役会長     | 谷川 訓生 |
| 〃    | 田淵倉庫(株)           | 代表取締役社長     | 田淵 隆一 |
| 〃    | 東洋埠頭(株)           | 代表取締役社長     | 土井 小保 |
| 〃    | 東洋メビウス(株)         | 上席執行役員大阪支店長 | 鳥居 俊彦 |
| 〃    | 鳥居運送(株)           | 近畿物流センター長   | 小保 新  |
| 〃    | (株)日新関西支社         | 代表取締役社長     | 森 誠   |
| 〃    | 日本通運(株)           | 関西倉庫部長      | 天野 繁弘 |
| 〃    | 日本通運(株)大阪支店       | 大阪支店長       | 瀬古 智広 |
| 〃    | 濃飛倉庫運輸(株)         | 執行役員関西支社長   | 白川 新吾 |
| 〃    | 延原倉庫(株)           | 大阪主管理支店長    | 堀畑 健二 |
| 〃    | 阪南倉庫(株)           | 代表取締役社長     | 延原 浩重 |
| 〃    | 藤浪倉庫(株)           | 代表取締役社長     | 堀畑 秀明 |
| 〃    | (株)松菱             | 代表取締役社長     | 松尾 拓大 |
| 〃    | 丸二倉庫(株)           | 代表取締役社長     | 湯川 康史 |
| 〃    | 三井倉庫(株)           | 上級執行役員関西支社長 | 北野 摩久 |
| 〃    | 三菱倉庫(株)           | 大阪支店長       | 丸山 大輔 |
| 〃    | 安田倉庫(株)           | 大阪営業所長      | 今井 貴史 |
| 〃    | (株)リクサス           | 取締役会長       | 土井 正博 |
| 〃    | 木津川倉庫(株)          | 代表取締役社長     | 渡部 卓司 |
| 〃    | (株)中央倉庫           | 大阪支店長       | 伊藤 泰三 |

## 大阪倉庫協会の異動

## 代表者変更

- ◆ NRS株式会社 大阪物流センター  
(前) センター長 加藤 秀文  
(新) センター長 本間 丈治
- ◆ 奥本製粉株式会社  
(前) 代表取締役社長 仙波美智代  
(新) 代表取締役社長 兼光 昌幸
- ◆ 株式会社上組 大阪支店  
(前) 執行役員支店長 前田 秀昌  
(新) 支店長 原 慎吾
- ◆ 北之坊倉庫株式会社  
(前) 代表取締役 佐々木孝志  
(新) 代表取締役社長 澤山 逸海
- ◆ サントリーロジスティクス株式会社  
北大阪支店  
(前) 西部支社長 藤野 哲史  
(新) 西部支社部長 仲野 大輔
- ◆ 商船港運株式会社 物流事業部  
(前) 執行役員物流事業部長 村山 克也  
(新) 取締役執行役員大阪事業部長 鯉田 博司
- ◆ 寺本運輸倉庫株式会社  
(前) 所長 中島営業所 伊豆浦龍彦  
(新) 所長 柏田 勇輝
- ◆ トレーディア株式会社 大阪営業所  
(前) 上席執行役員所長 森田 勝徳  
(新) 執行役員所長 菅原 勲
- ◆ 藤井倉庫株式会社  
(前) 社長 藤井 宏純  
(新) 社長 長田 健

## 大阪倉庫協会役員の異動

## 理事交代

◆大阪倉庫株式会社  
（前）代表取締役社長 北井 利一  
（新）代表取締役社長 近藤 正昭  
（令和八年六月一日）

永年五十年  
令和八年  
永年会員表彰会社

近畿製粉株式会社

北摂倉庫株式会社



右から、  
北摂倉庫(株)茂山代表取締役  
小野会長

## 五月講演会

## 「華の関西」



日本銀行大阪支店 営業課長

吉村 玄氏

去る五月十八日(月)の例会終了後、講演会を実施した。

昨年度に引き続きの講演となる吉村氏は二〇〇三年に入行し、以来多彩なキャリアを重ねてきた。金融政策分野に深く携わり、金融界・財界・行政との対話や政策運営等の業務を担当した。また、システムの部署で三十年ぶりの大規模なデータセンター建て替えのチームリーダーを務めたほか、財務省への出向時には空港・港湾や大阪万博に向けた夢洲の駅整備などの予算編成にも注力した。二〇二四年に大阪支店に赴任後は、営業課長として、経済情勢の分析を伝え、物価の安定や金融の安心を提供すると共に、人々に寄り添う対話を心がけている。大阪赴任から約二年が経ち、関西には独自の「華」があると実感。様々な逆風の中でも、できるだけ多くの方が経済成長して欲しいという願いを込め、今回は「華の関西」というテーマのもと、関西経済の現況について、講演をいただいた。

## ●日銀の使命と三十年ぶりの金利

日本銀行大阪支店は、一八八二年十月に東京の本店が設立されたわずるか

二ヶ月後に開設された非常に長い歴史を持つ拠点である。全国三十二支店のリーダー格として大阪府、奈良県、和歌山県を管轄し、地域の企業や金融機関と日常的に対話を行っている。日銀が全国に支店網を構える本質的な理由は、最大の使命である「全国津々浦々に安定的なお札(日本銀行券)を届ける」ためであり、その現業的な側面から倉庫業や運送業に近い性質も内包している。

日銀の究極の使命は「安心してお金を使えるようにすること」に集約される。お金を水道や電気のような社会インフラと捉え、それが当たり前に機能する環境を整えることで国民経済の発展を支えている。このため日銀は、お札を物理的に発行・流通させる役割、銀行間決済などのお金が安全に動く仕組みを維持する役割、そしてお金の価値を守る物価の安定という役割を担っている。なお、日銀職員は公務員ではなく独自の「日本銀行法」に基づいて職務を行う組織である。したがって、日銀法を超えた業務は許されておらず、例えば為替安定の主管は政府(財務省)であり日銀は事務代行の立場にある。その理論的背景には、国民

民生活の根幹へ長期かつ広範に波及する金利は、日々変動する為替相場に対処すべき道具として相応しくないことが挙げられる。

日本経済および関西経済はここ数年、「賃金と物価が共に上がる」という大きな転換期を迎えており、これに伴い「金利のある世界」への移行が進んでいる。日銀は二〇二四年三月から段階的に政策金利を引き上げており、足元では年率〇・七五%に達している。この水準は一九九五年九月以来、実に三十年ぶりの高さであり、日銀の現役職員であっても実務として経験した者はほんの一握りしかない未知の領域である。

この重要な意思決定を行うのが、通常年八回開催される「金融政策決定会合」である。会合では、総裁を含む九人の政策委員が一人一票の対等な権限を持ち、多数決によって方針が決まる。直近四月の会合では金利を〇・七五%に据え置く方針が決定されたが、その内訳は「賛成六、反対三」であり、反対した三名はより早期の追加利上げを主張した。今後の金利変更のタイミングは、自動的なルールやデータだけで決まるわけではなく、経済情勢の中で「九人の議論により、いつ五対四の多数決が成立するか」という人間のリアルな判断の機微に委ねられている。

## ●企業部門の動向と景気回復の現状

日銀の金融政策は九人の政策委員による多数決で決定されるが、その前提となるのが的確な経済情勢の把握である。現在、日銀は全国および関西の経済について「一部に弱めの動きが見られるものの、緩やかに回復している」と評価している。この評価は過去

二年間ほど維持されており、トランプ氏の動向や中東情勢などのイベントを経ても着実な回復基調は変わっていない。一方で、これはバブル期のように誰もが好景気を実感している状態ではなく、厳しいと訴える経営者も多い中での「平均値としての緩やかな回復」である。

また、景況感を日銀短観で見ると歴史的にも珍しい構造が生じている。通常は自動車などの輸出製造業が日本経済を牽引するが、ここ数年は「ピリッ」としない製造業を「インバウンドに支えられた非製造業サービス産業」が強力に引っ張るという逆転現象が起きている。

足元の最大の懸念は春先に緊迫化した中東情勢である。三月の短観では全体の景況感に劇的な悪化はないものの、化学、石油、石炭、運輸業などを中心に燃料代高騰等の影響が現にみられており、先行きについては、旅行客減少なども含め、多くの業種が懸念を強めている。他機関の調査でも企業の七〇・八割が地政学リスクを懸念しており、長期化への対応策として大半が「価格転嫁」を挙げている。

この点、過去のデータによると、原油価格が仮に二倍になった場合、当月内に石油製品が六割上昇し、三〇・六ヶ月後には鉄鋼や電気、パルプ・紙へ波及、一年以内に様々な製品で三%程度押し上げる。中小企業の価格交渉には通例半年ほど要するため、夏から秋口にかけて幅広く目に見えるかたちで価格が上昇し、経済活動への影響が顕著になってくる可能性がある。そのうえで、近年の価格転嫁の強まりを踏まえ、それ以上に急速かつ広範に価格が上昇することも警戒される。加えて、ナフサ等の調達難による影響も注

意を要する。

さらに、中東情勢の悪化が長期化すれば、世界経済が「スタグフレーション(成長率二%へ低下、物価六%へ上昇)」に陥る可能性も否定できない。なお、日本はホルムズ海峡経由の原油依存度が九割と不利な情勢にあるが、関西地域は全国(特に東京に比べて)原子力の電源構成比率が高いため、原油・天然ガス高騰による電気代上昇の影響を相対的に抑えられている側面がある。

このように厳しいリスクの一方で、今年度の企業収益動向は関西・全国ともに過去最高水準の利益を計画している。これは企業の基礎的な「稼ぐ力」が強まっている表れであり、設備投資計画も右肩上がりを維持している。特に中小企業では、景気に関わらず深刻な人手不足に対応するため、DXやソフトウェアへの投資をせざるを得ないという防衛的な必要性に迫られている。

また、AIやデータセンター需要もポジティブな風となつていく。生成AIの普及で世界の半導体出荷額は急



増しているが、恩恵を受けているのは台湾や韓国であり、日本は出荷額を伸ばせずグローバルな大波に乗り切れていない現実もある。それでも、E V市場の失速とA I市場への急激なシフトという地殻変動に対し、国内の大企業を中心に生産ラインをE V向けからA I向けへ急遽切り替えるなど、ポテンシャル回復に向けた投資や積極的な増益計画が進められている。

### ●家計部門の消費動向と二極化

家計部門における個人消費の全体像を物価変動の影響を除いたベースで見ると、ここ数年は「底堅く推移」している。すなわち、米価の高騰など急激な物価上昇が続く厳しい環境下においても、消費全体としてみれば踏みとどまっていると評価できる。ただ、その平均値の裏には深刻な二極化が存在する。インバウンドや株高の恩恵を受ける層、初任給が引き上げられている若者世代などがある一方で、そうした恩恵に乏しいシニア層や低所得層などが共存している。加えて、中東情勢の悪化を背景に、足元の消費者マインドには陰りが見え始めている。

こうした中で、消費を支える鍵は、やはり雇用と賃金の動向である。関西経済においても、企業は「未曾有の人手不足」に直面しており、バブル期並みの人手不足の懸念や「人手不足倒産」の急増がそれを物語る。もはや人を確保しなければ事業継続ができない限界点に達した結果、今年の春闘などにおける賃金改定率は全国・関西ともに5%強、実に三十年ぶりの高水準が続いている。

物価上昇のメカニズムには二つの側面がある。一つは原材料高騰による「コストプッシュ型(第一の力)」であ

り、もう一つは人件費の上昇をサービス価格等に反映させる「賃金と物価の連関(第二の力)」である。現在、第一の力の効果は減衰しつつあるが、代わり第二の力が機能を強めており、日銀が目指す2%の安定的な上昇に向けて着実に進んでいる。ただし、足元の中東情勢の悪化を受け、第一の力の効果が再度強まってくることは注意を要する。

こうした構造変化を踏まえ、日銀は「金利のある世界」への舵取りを進めている。足元の政策金利は〇・七五%まで引き上げられており、今後とも経済が想定通りに推移すれば「ゆっくりと金利を引き上げていく」方針である。急激な利上げは家計や設備投資を冷え込ませるリスクがあるため慎重なコントロールが求められるが、金利上昇への受け止め方は様々。例えば、手元資金が豊富な大企業(歓迎)と借入依存度の高い中小企業(懸念)で一律ではない。

現在の局面を一九七〇年代の「オイルショック」の歴史と対比すると重要な教訓が得られる。第一次オイルショック時、日本は緩やかな財政出動と大幅な賃上げの中で、物価が20%も上昇する「狂乱物価(スタグフレーション)」を招き大打撃を被った。これに対して、第二次オイルショックでは日銀が迅速な利上げを断行し、企業や国民も痛みを分かち合いながら省エネ投資や合理化を進めた結果、世界で最も早く危機を脱し、その後の強力な国際競争力を築くことに成功した。

この歴史が示す通り、現在の物価・金利上昇も単なるコスト負担の増大として捉えるべきではない。深刻な人手不足やコスト高という「ピンチ」を契機として、企業がD XやG X・省力

化投資を断行し、真の生産性向上を果たせれば、日本経済が次なる成長ステージへ飛躍する「チャンス」へと変貌する。日本銀行大阪支店は、そうした企業の挑戦に寄り添い対話を続けながら、社会インフラである物価と金融システムの安定を支えていく方針である。

### ●関西経済の転換点と魅力

関西経済は今大きな転換点と反転のチャンスを迎えている。過去数十年にわたり製造業の右肩下がりの推移や東京一極集中による企業数の減少を経験してきたが、昨年の二〇二五年大阪・関西万博を契機として、新たな流れが生まれつつある。少子高齢化が進む中、アジアを含む海外の活力を取り込むインバウンドや、若者の力を活かした新産業の創出、イノベーションによる成長戦略の実行が極めて重要となっている。その象徴的な動きが、五十二年ぶりに転入超過へと転じた関西二府四県の人口動態である。都市再開発や行政改革の効果もあり、住みやすい街としての魅力が見直されて



いる。世界の都市総合力ランキング(二〇二五年)でも大阪は十八位に急上昇し、特に「居住分野では六位と高い評価を得た。物価や賃料の安さ、アットホームな文化、さらにリモートワークの普及が、この大阪の居住価値を後押ししている。

今後の大きなマイルストーンとなるのが、二〇三〇年秋に夢洲での開業を予定している大阪IR(統合型リゾート)である。その初期投資額は、一五兆円にのぼり、うめきた開発(グランドグリーン&グランフロント)をも上回る巨額のプロジェクトである。年間来訪者は約二千万人と推定され、これが実現するのであれば、U S Jやディズニーランドといった国内主要テーマパークを凌駕する規模となる。これに合わせて、引き続きインフラ整備や都市再開発も計画されている。外国人や若者、富裕層を呼び込むことで、湾岸エリアはさらなる活気に満ちあふれると期待される。

●おわりに

こうした変化の中、日本銀行大阪支店では地域経済の発展と安心の醸成に向けて取り組んでいる。万博を一つの切り口とした産業分析に加え、災害時における金融機能の維持や、首都圏被災時に関西がバックアップを担う「近畿BCP」の体制強化を進めている。また、次世代を担う若い職員の知恵を活かした広報活動に注力しており、阪神・淡路大震災から三十年という節目も捉えながら、災害時の日銀の役割や関西金融の歴史を紹介する企画展示、無料の見学ツアー等にも取り組んでいる。中央銀行として、より一層、地域社会や企業とのつながりを深めていく方針である。

貨物取扱実績表(月平均) 令和8年1月~令和8年3月

近畿倉庫協会連合会

| 協会名       | 入庫高(千屯) |       |        | 出庫高(千屯) |       |        | 保管残高    |       |         |           |           |        | 会員数(3月末) |      |      | 所管面積(3月末) |       |        | 回転率(トン・%) |        |
|-----------|---------|-------|--------|---------|-------|--------|---------|-------|---------|-----------|-----------|--------|----------|------|------|-----------|-------|--------|-----------|--------|
|           |         |       |        |         |       |        | トン数(千屯) |       | 金額(百万円) |           |           |        |          |      |      |           |       |        |           |        |
|           | 実績      | 前年実績  | (前年対比) | 実績      | 前年実績  | (前年対比) | 実績      | 前年実績  | (前年対比)  | 実績        | 前年実績      | (前年対比) | 社        | 前年実績 | (増減) | 千㎡        | 前年実績  | (前年対比) |           | (前年同期) |
| 福井県倉庫協会   | 59      | 60    | 98.3%  | 60      | 59    | 101.7% | 115     | 112   | 102.7%  | 60,704    | 56,712    | 107.0% | 35       | 35   | 0    | 242       | 242   | 100.0% | 51.5%     | 53.0%  |
| 滋賀県倉庫協会   | 336     | 308   | 109.1% | 323     | 312   | 103.5% | 652     | 661   | 98.6%   | 229,203   | 184,974   | 123.9% | 87       | 86   | 1    | 1,168     | 1,089 | 107.3% | 50.9%     | 47.7%  |
| 京都倉庫協会    | 143     | 117   | 122.2% | 145     | 119   | 121.8% | 226     | 212   | 106.6%  | 104,593   | 109,138   | 95.8%  | 49       | 49   | 0    | 475       | 467   | 101.7% | 63.5%     | 55.3%  |
| 大阪倉庫協会    | 910     | 870   | 104.6% | 908     | 867   | 104.7% | 1,919   | 1,799 | 106.7%  | 701,783   | 658,230   | 106.6% | 193      | 196  | ▲3   | 3,556     | 3,578 | 99.4%  | 47.4%     | 48.3%  |
| 奈良県倉庫協会   | 64      | 31    | 206.5% | 69      | 30    | 230.0% | 87      | 62    | 140.3%  | 24,489    | 21,444    | 114.2% | 19       | 18   | 1    | 163       | 152   | 107.2% | 74.0%     | 50.0%  |
| 和歌山県倉庫協会  | 121     | 102   | 118.6% | 128     | 101   | 126.7% | 218     | 205   | 106.3%  | 55,777    | 44,593    | 125.1% | 38       | 36   | 2    | 335       | 327   | 102.4% | 47.4%     | 49.5%  |
| 大阪府運輸倉庫協会 | 205     | 204   | 100.5% | 207     | 202   | 102.5% | 465     | 454   | 102.4%  | 108,500   | 121,792   | 89.1%  | 146      | 147  | ▲1   | 937       | 928   | 101.0% | 46.7%     | 44.7%  |
| 合計        | 1,838   | 1,692 | 108.6% | 1,840   | 1,690 | 108.9% | 3,682   | 3,505 | 105.0%  | 1,285,049 | 1,196,883 | 107.4% | 567      | 567  | 0    | 6,876     | 6,783 | 101.4% | 49.9%     | 48.2%  |

# 海の月間



屋久島灯台(鹿児島)

「海の月間」は、海の恩恵に感謝し海洋国日本の繁栄を願う「海の日」が、平成十五年から七月の第三月曜日へ移行し三連休化されたことを契機に、国土交通省によって七月の一ヶ月間として制定されました。官民一体で活発な活動を展開するため「海の月間」推進委員会が設置されています。また、平成十九年には我が国の海洋施策を総合的かつ計画的に推進する「海洋基本法」が施行され、五年ごとに「海洋基本計画」が閣議決定されています。近年の計画では、海洋安全保障の強化に加え、自立型水中ロボット(AUV)の開発や、二酸化炭素を海に吸収させる「ブルーカーボン」といった最新の科学技術・環境対策が重点的に盛り込まれています。この海洋基本法では、国や地方公共団体は「海の日」に海洋への理解と関心を深める行事の実施に努めるよう規定されています。

これを受け大阪地区では、国の関係出先機関や地方公共団体、海事・観光関係団体など三十三団体で組織する「海の月間実行委員会」のもと、各団体が連携して六月から十一月までの間に様々な諸行事を展開し、海事思想の普及に努めています。例年の「海の日」を祝う行事としては、長年海事関係事業に貢献した功労者へ近畿運輸局長からの表彰が行われており、今年は七月二十二日(水)に「ホテルプリムローズ大阪」にて表彰式と祝賀会が開催されました。

当協会関係の受表彰者は下記の方々です。

祝「海の日」七月二十日

## 令和八年 「海事関係功労者」 表彰の方々

### 近畿運輸局長表彰

#### ●事業功労 (倉庫関係)

堀畑浩重氏

(阪南倉庫株式会社)

#### ●永年勤続 (倉庫関係)

中山忠俊氏

(大阪港埠頭ターミナル株式会社)

中野雅之氏

(グリーン物流株式会社)

山下勝広氏

(大日本倉庫株式会社)

荒木正明氏

(阪南倉庫株式会社)

中西賢治氏

(グリーン物流株式会社)

竹本裕治氏

(株式会社住友倉庫)

八塚 武氏

(南海通運株式会社)

西向 豊氏

(株式会社松菱)



## 高倉神社「倉暉祭」を斎行

倉庫業の守護神である高倉神社(三重県伊賀市西高倉)の倉暉祭が恒例の七月十三日(月)、多数の倉庫関係者、地元氏子の皆様が参列され執り行われた。

高倉神社は、倉庫や延命長寿の神様である高倉下命(たかくらじのみこと)を祭神として祀っており、天正二年(一五七四年)建立とされ、本殿などが国の重要文化財にも指定されている歴史ある神社である。そのため

倉暉祭には例年全国から倉庫・運輸業界の関係者が多く集まり、業界の発展や事業の安全・繁栄を祈る神事が行われ、長年にわたって受け継がれてきた伝統ある神事として名高い。

当日は、当協会からは、福西会



日本倉庫協会・小野会長とともに



長・黒木副会長・岩本副会長・山中副会長、担当委員会として総務委員会・中小企業委員会等の有志十四名が参列した。

また、日本倉庫協会の小野会長・中村理事長をはじめ、静岡県倉庫協会、東海倉庫協会、滋賀県倉庫協会、愛媛県倉庫協会他、多数の皆様が参列され、真に倉庫の暉(かがやき)を祈る神事にふさわしく盛大に斎行された。

儀式は、本殿にて倉庫業界の繁栄を祝う祝詞を奏し、雅楽「納曾利(なぞり)」が奉納され、参列者全員が玉串を奉奠した。続いて、神殿脇の倉庫業界建立の鎮魂碑前で業界諸先輩の霊に拝礼して神事は終了した。

## 新入会員紹介

## 株式会社クロヒジ

【所在地】 〒596-0011  
大阪府岸和田市木材町11-14  
【代表者】 児玉 芳文  
【資本金】 3,000万円  
【電 話】 072-438-2329  
【FAX】 072-438-0083  
【所管面積】 1,396㎡  
【主な取扱貨物】 化学原料など

大正4年創業の当社は、工場内荷役や設備保守、化学製品輸送の実績を重ね、大阪・千葉への展開を経て現在は岸和田市へ移転しています。このたび顧客の強い要望に応え、営業倉庫の認可を取得し倉庫業へ新規参入いたしました。中東情勢の悪化により厳しいスタートとなりましたが、会員事業者の皆様にお知恵をお借りしつつ、築かれた実績と信用を汚さぬよう精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(令和8年4月入会)



## 新入会員紹介

## 関通ホールディングス株式会社

【所在地】 〒660-0857  
兵庫県尼崎市西向島町111-4  
【代表者】 達城 利卓  
【資本金】 1億円  
【電 話】 0800-555-0500  
【所管面積】 7,057㎡  
【主な取扱貨物】 アパレル、医療化粧品、日用雑貨、冷凍冷蔵食品、家具など

当社は、1986年4月に創業して40年を迎えました。『物流を「コスト」から、事業を加速させる「知恵」へ』を、「現場の知恵」と「テクノロジー」を武器に、これからの、お客様のビジネスを強くする成長のエンジンとして、次なる挑戦を続けてまいります。

(令和8年4月入会)



## 物流ひとくちメモ

## 四トン車は四トン積める？

## ～新人時代の思い込み～

今年も新入社員が現場に配属される時期となりました。まだ少し緊張した様子で業務に取り組み姿を見ていると、二十年前の新人だった頃を思い出します。

当時の私は、「四トン車なら四トン積めるものだ」と何の疑いもなく考えていました。今振り返ると単純な思い込みですが、その頃はそれが当たり前のように感じていました。しかし、実際の現場では、そう簡単なものではありません。四トン車の「四トン」とは最大積載量を指しますが、これはあくまで条件が整った場合の上限であり、常にその通りに積めるわけではありません。

荷物の形や大きさ(容積)、パレットの有無はもちろん、車両の仕様やパワーゲートなどの装備重量によっても、実際に積める量は大きく異なります。こうした経験を通じて、「トン数」そのまま積める量ではない」という物流の基本と、「重量」と「容積」の両面から最適解を導き出す重要性を学びました。

新入社員が直面するこうした「思い込み」は、誰もが一度は通る過程です。日々の業務の中で生

れる小さな違和感や疑問に目を向けることが、物流の本質を理解するきっかけになります。「知れば知るほど奥が深い」のが物流の面白さです。新入社員の皆さんがこの世界の魅力に気づき、一歩ずつプロフェッショナルへ成長していく姿を、楽しみに見守り、支えていきたいと思っています。

(三井倉庫株式会社 関西支社  
林 俊昌氏 寄稿)



## 社員研修会開催

### 新入社員研修会

四月二十一日(火)  
於協会会議室

今年度も新入社員を対象とした研修会を開催した。この研修会は来客応対やビジネスマナーの如何が会社の印象を左右することを十分認識し、接客接待や電話応対の基本や正しい敬語の使い方等、企業人としての心構えを勉強していただくための研修会である。

本年度も京都、滋賀県、和歌山県倉庫協会との合同により四月二十一日(火)当協会会議室にて開催され、十七社二十六名が参加した。

午前九時三十分、筑紫常務理事の挨拶に続き、(株)日本経営協会総合研究所の櫻井悦子講師による講義、実施指導が昼食、休憩をはさんで午後四時半まで行われた。



講義の間に、実技と演習を交え、参加者一人ひとりに対して懇切丁寧に、挨拶の仕方、報告の仕方、発声練習まで時として厳しい指導で進められ、密度の濃い内容であった。研修概要は次の通りである。

- 一・社会人としての基本
- 二・ビジネスマナーの基本
- 三・社会人としての言葉遣い
- 四・電話応対の基本
- 五・来客応対の基本
- 六・訪問マナー
- 七・ビジネスコミュニケーション
- 八・仕事の進め方
- 九・職場のマナー
- 十・良いスタートをしよう

#### 講師

(株)日本経営協会総合研究所

櫻井悦子氏

### 倉庫業務基礎研修

四月二十七日(月)  
於協会会議室

大阪倉庫協会研修委員会は、四月研修会として、日倉協の令和八年度研修プログラムから「倉庫業務基礎研修」を開催した。

この研修会では、会員各社における新入社員をはじめ倉庫業務初任者を対象に、倉庫業の基本から、受託・入庫・保管・出庫業務、料金の計算方法等に必要倉庫業務の基礎知識の習得を目標としている。

参加者は三十八名、研修終了後受講済証が手渡された。



講義内容は次のとおり。

- 一、倉庫業とは
  - ・倉庫業者とは
  - ・倉庫の分類
  - ・営業倉庫の機能
- 二、倉庫業務としてのメリット
  - ・営業倉庫としてのメリット
  - ・受託業務
  - ・入庫業務
  - ・保管業務
  - ・出庫業務
- 三、倉庫寄託約款とは
  - ・倉庫寄託約款の重点事項抜粋
- 四、倉庫の諸料金
  - ・保険料・荷役料とは
  - ・例題による保管料・荷役料計算
- 五、質疑・応答等

#### 講師

GINZAコンサルティング(株)

谷口 彰氏

※アンケート評

「当たり前に行っていた日々の出入

庫業務や請求業務の『意味』が理解できた」という声が多く、営業倉庫の定義や善管注意義務(管理責任)の大切さ、そして保管料・荷役料の計算を演習形式で学べた意見があった。実務に役立つ内容が多く、参加者の満足度も高かったことがうかがえた。

### 若手社員研修会

五月十一日(月)  
於大阪科学技術センター

若手社員研修会は、会員各社の将来を担う方々に倉庫業の基礎を学習していただくための企画で、入社二～三年目の社員を中心に五月十一日(月)大阪科学技術センターにて開催された。

この研修会は、京都、滋賀県、奈良県、和歌山県倉庫協会との共催。午後一時二十分から開催され、主催者を代表して黒木研修委員会委員長の挨拶の後、研修委員会委員長から選出いただいた講師により、「倉庫業の実務について」、「契約の



基礎について」、「経理の業務について」の講義が行われた。参加者は七十三名、最後まで熱心に聞き入っていた。

講義内容は次の通りである。

- 一、倉庫業の実務について
  - ①会社概要
  - ②物流業界について
  - ③物流とは
  - ④倉庫業とは
  - ⑤倉庫業の実務基本

#### 講師

センコー株式会社

関西業務センター

課長 笠原勇樹氏



#### 二、契約の基礎について

- ①取引社会における契約の意義
- ②営業内容にかかわる「契約」
- ③「契約書」を作成する目的
- ④契約書に記載すべき内容
- ⑤契約の成立
- ⑥契約書に調印する際の注意事項
- ⑦約款
- ⑧まとめ

#### 講師

日本通運株式会社 大阪支店

コーポレートソリューション部

(業務・品質グループ)

課長 松井正明氏



三、経理の業務について  
はじめに、経理の全体像

- ①会計帳簿記載
- ②財務諸表の作成
- ③決算開示資料
- ④税務申告
- ⑤管理会計と予算
- ⑥内部統制

#### 講師

株式会社杉村倉庫 経理課  
課長代理 青木 省吾 氏



### 中堅社員研修会

六月十一日(木)  
於協会会議室

大阪倉庫協会研修委員会は、中堅社員を対象としたソリューション営業研修 初級編③物流データ分析基礎研修を開催した。

この研修では、本格的なデジタル・トランスフォーメーションソリューション(DX)時代の到来に向け、物流をデータで捉えて改善策を実行するための、必要な基礎知識から生産性のアップの手法まで、実践的な演習を学んでいただく内容となっている。

この研修会は、京都、滋賀県、奈良県、和歌山県倉庫協会との共催。参加者は三十名、研修終了後受講済証が手渡された。  
講義内容は次の通りである。

#### 一、プロローグ

なぜデータが必要なのか

A データの整理手法  
B 代表的なデータ分析手法と使い方

①物流センターの配置を検討する

②物流センターの作業生産性アップを図る

#### 講師

山田経営コンサルティング事務所  
代表 山田 健氏

#### ※アンケート評

参加者からは、実体験を交えた丁寧な指導と、演習を通じた実践的なアプローチが好評であった。ABC分析や人時生産性といった在庫レイアウト見直しや適正人員配置の分析手法など、「業務改善や顧客提案に活かしたい」と多くの受講者から共感を得られた。また、「一部の練習問題をもう一度見直したい」や、「演習の時間を増やしてほしい」などの声もあった。



### 倉庫業安全実務講習会

六月二十四日(水)  
於協会会議室

大阪倉庫協会では、労働災害防止の徹底を目的に安全管理実務講習会を開催した。この講習会では、関係法令を含めた安全管理全般についての講義に加え、最新の安全管理手法について討議を行うなど、現場第一線の管理監督者にとって欠かすことのできない、安全管理の知識を習得していただく内容となっている。

参加者は二十四名

講義内容は次の通りである

一、倉庫業における安全管理の進め方

①安全衛生管理体制・管理組織

②安全管理の業務、倉庫管理主任者の責務、安全衛生管理全般

二、関係法令と災害事例

①労働安全衛生法の重要なポイント

②倉庫業における災害事例の解説

三、リスクアセスメントの概要について

①現場にどのような危険が潜んでいるかを受講者自ら予測する

②危険性を事前に回避するための安全管理手法(リスクアセスメント)について学ぶ

四、リスクアセスメント演習(グループ討議)

①小グループ別に分かれて討議し、その内容を相互に発表する。

②聞いた受講者全員がさらに討議を行い、最後に講師がコメントする。

#### 講師

株式会社NXX総合研究所  
専任講師 井口 雅夫氏

※アンケート評  
参加者は管理職が半数以上を占め、入社十年以上のベテランが多く集まった。内容の理解度や満足度の項目で評価が高く、特にフォークリフトの災害事例の解説や、他社とのグループディスカッションを交えた「リスクアセスメント」の演習が、実践的で職場の安全意識の向上に直結すると好評だった。

## 令和8年度 研修会日程

(注)日程・内容などで変更の場合あります。

|     | 日程        | 会場 | 研修内容                            |
|-----|-----------|----|---------------------------------|
| 上半期 | 令和8年      |    |                                 |
|     | 4月21日(火)  | ○  | 新入社員マナー研修(1日)                   |
|     | 27日(月)    | ○  | 倉庫業務基礎研修                        |
|     | 5月11日(月)  | ※  | 若手社員研修(3社の課長クラス)                |
|     | 6月11日(木)  | ○  | ソリューション営業研修 初級編③<br>物流データ分析基礎研修 |
|     | 24日(水)    | ○  | 安全管理実務講習会(1日)                   |
|     | 7月23日(木)  | ○  | 国際物流入門研修                        |
|     | 9月 4日(金)  | ※  | 令和8年度第1回倉庫管理主任者講習会              |
| 下半期 | 16日(水)    | ○  | ソリューション営業研修 中級編④<br>提案書作成基礎演習   |
|     | 10月23日(金) | ○  | 新社員のための物流入門講座                   |
|     | 11月13日(金) | ※  | 情報化月間協賛講演会                      |
|     | 24日(火)    | ○  | 倉庫法令実務専門研修(半日)                  |
|     | 12月 未定    | ※  | 生産性向上説明会                        |
|     | 令和9年      |    |                                 |
|     | 2月 3日(水)  | ○  | 倉庫管理主任者フォローアップ研修                |
|     | 22日(月)    | ※  | 令和8年度第2回倉庫管理主任者講習会              |

会場：○協会会議室、※大阪科学技術センター

## 私の余技


 続  
263

藤浪倉庫株式会社 代表取締役社長

藤浪 秀明



この度は歴史ある機関紙『蒼光』への寄稿機会をいただき、誠にありがとうございます。

テーマ「私の余技」に関して倉庫業以外となると「写真撮影」を外して語ることはできませんが、まず私自身を紹介させていただきます。

私は大阪府岸和田市に生まれ「だんじり」と共に育ちました。学生時代から内向的な性格で時間があればファミコンを始めとした家庭用ゲーム機や漫画に費やす時間が多く日々だったと記憶しています。社会人となり大阪倉庫協会の会員でもある丸二倉庫・湯川様の元で働かせていただくこととなりました。慣れない現場業務は大変でしたが有意義な修行をしたと思います。その節は大変お世話になりました。

自社へ戻り現場業務に携わる傍ら、学生時代のように熱中できる趣味を探していました。ある日SNSで素敵な写真を目の当たりにしたところ「こんな写真を自分も撮影してみたい」と中古のソニー製カメラを購入しました。それか

らの日々は夢中の一言。機材に触れ基本的な構造を理解し、わからない設定はネットで検索し初心者ながら撮影した写真をSNSにて共有することで楽しむ日々を送るようになりました。

当時の私は風景写真専門でした。撮影現場へ行くと高齢者の先輩カメラマンが多くいらつしやう、私が不慣れな手つきで撮影していると「いちゃん、その撮り方では良い写真にならんへん」とアドバイスをいただいたものの、私の頑固な性格が災いして、自分が良いと思う方法で撮り続けました。結果独自性のある写真ばかりとなり目新しさからなのかSNSで話題となるようになりました。

カメラを初めて三年経過した頃、ソニーから写真展のお話が来しました。三名の合同展でしたが今まで顔の見えないネットでの世界でしかやり取りしたことがない私にとって、直接感想を聞ける機会には新鮮だったのを今でも記憶しています。それからトークショー出演、雑誌寄稿、ホテル観光ページ掲

世界中を震撼させたコロナ禍が巻き起こるのです。

「不要不急の外出自粛」のニュースが舞い込み、私はせき止められたダムでした。あの桜は今頃満開だろうな、今日の夕焼けはきつと美しいに違いないと、撮りたくても撮れない悔しい日々が続きます。自粛が解けた期間はできる限り多くの場所を寝る間も惜しんでめぐりました。そんな苦しかったコロナ禍の年末、東京カメラ部十選に選ばれました。東京カメラ部は日本最大級のSNS写真コミュニティであり日々数万枚の写真が投稿され優秀な作品が公式アカウントで紹介されます。一年を通じて三千三百万枚の中から私の作品は十選として選ばれました。カメラを通じて親友に報告し喜びを分かち合った事は生涯忘れられない思い出です。

コロナ禍が終わりを告げた頃、KADOKAWAからの写真集出版と、山と溪谷社からのカレンダー出版の話が舞い込みます。編集者から提案されたタイトルは

「和想百景」。全国の書店で発売されカレンダーに至っては四年連続アマゾンベストセラー一位を獲得しました。本来であれば本業でお世話になった方に報告を兼ねてお配りするべきと考えますが、趣味を本業とミックスさせてしまつてよいのかと疑問が生まれます。趣味を仕事の場へ持ち込むことに抵抗を感じていたのでした。

そんな中、私は東京カメラ部株式会社塚崎代表へ相談しました。返答は「何を言っているのですか！写真集が最高の名刺になりますよ。」とアドバイスをいただきました。それから恐る恐るお取引様へご挨拶を兼ねて写真集を手渡ししたところ普段お話しできない方が興味を持たれ、写真を通じその場所へ行つてみたいと話が弾むようになりしました。中にはそれがきっかけとなりお仕事を頂くことさえありました。趣味と本業が融合した瞬間でもありました。

最後に私が写真撮影する際、心がけている事を紹介させていただきます。数々の写真を撮影し、SNSに投稿しましたが現場へ出向き作品が一回で撮影できることは稀です。新しい場所を見つければ、ここが紅葉したら綺麗だろう、「夏には天の川が見えるのではないか」、「雪が積もった景色を見たい」といった完成図が私の頭に創造され逆算的にその写真を撮るためのアプローチを考えるのです。季節、時間、太陽の射角、温度湿度といった季節変動から気になった一本の枝に花が咲く瞬間を狙うこともあります。

目標を定め計画、実行、測定・評価、対策・改善の循環は仕事における品質向上そのままではないかと気づいたのは後の話となります。これからも写真という余技を通じて、本業に戻せたらこれ以上の喜びはありません。

最後までお付き合いいただきありがとうございます。今後ともよろしく願っています。



淀川花火